



# ひろみっこ

令和4年2月1日  
富士市立広見小学校  
学校だより 2月号

小中一貫教育目標 「一生懸命 がんばる」  
重点目標 「ともに学ぼう 挑戦しよう」

2月・3月の生活目標 「ありがとうの気持ちをあらわそう。」

校長 石原 克己

1月が「行き」、早くも2月を迎えました。2月は、「如月（きさらぎ）」とも呼ばれます。その語源となった一つとして「まだまだ寒さが残っているため、衣（きぬ）を更に着る月であるから『衣更着（きさらぎ）』という説があります。1月の中旬から下旬にかけて寒さが厳しさを増し、正門で子どもたちを迎えている私としては、「もう一枚上着を…」は、実感として理解できます。そのような中、子どもたちには元気に登校する姿が見られ、中には、薄着の子どももいてたくましさを感じます。

このところ、新型コロナウイルスが世代関係なく広がりを見せ、いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない状況です。学校では、朝の検温・こまめな手洗い・消毒、換気、黙食、接触を避けることを常に呼び掛け、子どもたちも自分事と捉え、学校を守るために努めてくれています。しかしながら、今後、行事などの中止や縮小も考えられます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

## ◇ 春を探して ◇

一足早く、春を探しに校庭を散策してみました。

1年生が育てているチューリップが小さな芽を出し始めていました。そして、運動場の北側、冬の青空を背景にして、桜の梢に膨らみ始めた蕾を数えることができました。チューリップの芽も桜の蕾も冬の寒さにじっと耐えつつも英気を養っているように映ります。

伊豆の爪木崎にはかないませんが、校庭のあちらこちらに水仙の群生が目に残りました。きれいに咲き誇り、甘い香りさえも感じられます。また、正門近くの花壇には、富士山とミルク（うさぎ）をかたどって植えられたアリッサムとビオラが咲き、花芽の数を増やしています。園芸委員会がきれいに整備してくれているおかげです。

南側の畑には、キャベツの苗も葉の数を増やしています。4月、モンシロチョウが卵を産み付け、新3年生の理科の学習で活躍することと思います。また、昨年種を蒔いた菜の花が見事に咲いていました。暖かい陽射しとともに咲いているその姿に春到来かと錯覚を覚えました。

4月の進学・進級に向け、日々、心身にともにエネルギーを蓄えている子どもたちの姿と重なることを感じながら、進学・進級への期待を大切にしていきたいと思いました。ご家庭でも、見守りと声掛けをお願いいたします。

## ◇ ありがとうの気持ちを ◇

先日の1月24日（月）から1月30日（日）は「給食記念週間」でした。それに合わせて、昼の放送により、日頃からおいしい給食をつくってくださっている給食調理員の方々に感謝の気持ちを伝えたり、窪江主任調理員から、「みなさんが、元気で幸せになる給食をこれからもつくっていきます。」というメッセージを受け取ったりしました。また、ポスターの掲示やクイズを出題することを通して、給食への理解も深めました。

今後の児童会活動として、「地域の方に感謝する手紙」、「委員会引き継ぎ式」、「笑顔あふれる6年生ありがとうの会」を計画し、準備を進めています。このような取組を通して、子どもたちは、人となりのつながりを感じ、感謝する気持ちをあらわすことで心を豊かにしていくのだと思います。

